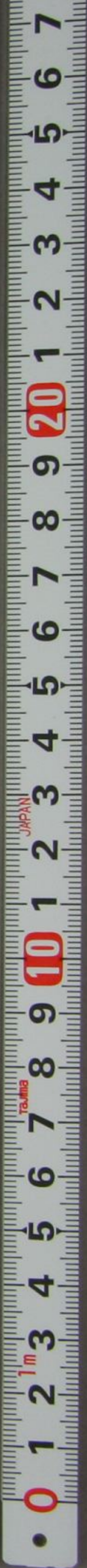


佛國政府體格及機關
國議院編成
國議院取扱方
國議院
民選議院職務
民選議院
元老編成
元老

1624



414
A 536



元老セナト

元老

政體ノ基約及ニ國民自由ノ衙官

ニシテ其許諾ナクハ何レノ法律タリ

トテ布令スルコトヲ得ス而シテ元老其

法律布令ヲ禁止スヘキノ箇条在ノ如シ

第一 政體心道宗旨自由自己自由對

律万民同等持理無私裁判職確然不扱

ノ如キ數箇條ノ規則ニ違背シ或之レ

ヲ又犯スルノ法律

大正

初月

第二 國ノ防禦ヲ衰弱セシムルノ法律

元老ニ於テ取極ムルノ箇條左ノ如シ

第一 諸藩屬ノ政體

第二 國政體ニ未タ極ラザルノ緊要

ナリ事

第三 政體ノ疑惑ナル箇條ノ意

元老ニ於テ取極ムル箇條ハ皇帝ノ勅

許ヲ薦メ皇帝ニ於テ之レヲ布令スル

政體ニ違背スルトシテ政府或ハ人民ヨ

リ元老ハ請出スル百ノ外置ハ元老ニ於

テ取捨スルナリ

元老ハ國ノ為メ一大利益ニナルヘキ法

律ノ原則ヲ記認シテ以テ皇帝ニ奏達ス

ルノ權アリ尤モ凡テ政體ノ變革ハ四民

ノ承諾ヲ經スンハアルヘカラス

會議^{トケルコト}解容ノ節ヨリ再會議^{トケルコト}迄ハ元老皇帝

ノ賴^{トケルコト}ヲ以テ政治ノ為メ緊要ナル事件^{ニシテ}成

出スルトキハ姑息ノ処置ヲ以テ許容ス
ヘキナリ

元老ノ召集ト會議期限ヲ決定シ或ハ延
會スルコトハ皇帝ヨリ布令ヲ以テ定ム
ルナリ

元老ノ編成

第一

宗首總督等

カウチナル

軍勢總大将

アレシヤルドフランス

水師提督 アミラル

第二

國民中ニ於テ皇帝親ラ任選ス尤其
負數ハ百五十人ヲ過ヘカラス

元老ノ官位ハ任選ヲ受クルノ後生涯確
然不拔ナル者トス其官負ニハ三萬ヲラ
ンクノ俸金アリ

元老ハ議長及ヒ副議長ハ元老官負ノ内
ニ於テ皇帝ヨリ任選シ年々交代セシム

民選議院

選立人其^{自エレリ}ト云フ^{ト云フ}五千人宛ニ民選議
員一人ヲリ議員ヲ委任スルハ萬民ノ選
任ニアリテ六年ヲ以テ其勤役ノ期限ト
ス

右議長副議長ハ一年ノ為メ皇帝ヨリ民
選議員ノ中ニテ選舉ス

政府ノ諸々ハ民選議員タルヲ得ス
民選議院ノ會議ヲ召集シ或ハ其ノ限ヲ

延シ或ハ之レヲ延會シ或ハ解容スルノ
件、ハ皇帝ノ權ニアリ尤モ皇帝ニ於テ
民選議院解容スルノ節六ヶ月ノ中孰ニ
會議ヲ召集ヤスルハアル一カラス
民選議院會席ノ期限ハ二ヶ月或ハ三ヶ月
ヲ以テス右議席ハ衆人面前ニ於テ行
ハシテ尤人民選任五人願ニ出ツルノ時
ハ議席ヲ秘密ニシテ一

民選議院ノ職務

レ6

民選議院ハ國議院ヨリ建設ケタル法律
ノ稿案并租稅ヲ上議シテ拒諾ノ發言ヲ
ナス
民選議院法律ノ稿案ニ改革ヲ願フノ時
ハ右稿案ヲ國議院ヘ戻シ返スヘシ若シ
國議院右改革ヲ拒ムノ時ハ右稿案ヲ民
選議院ノ商議ニ再々進ムルヲ得ス
民選議院召集ノ布令書ニ定メタル日限
ニ民選議長議會員先採ノ最モ終リノ輩四

八ノ扶助ヲ以テ闡取ニ從ヒ民選議院ヲ
七局ニ分ツ其局ハ毎月闡取ヲ以テ交代
レ自ラ局頭并局書記官ヲ選任ス諸局ノ
惣支配ハ民選議長之レヲ司リ二人ノ議
員年ノ皇帝ヨリ選任セラレ局支配ノ為
メ議長ヲ扶助ス
民選議院ノ議畧ハ公布ス一キ之尤モ
布マルノ言民選議長并一七局頭ノ承諾
ヲ受ズンバアルベカラズ

レリ

國議院

但コンヤイユデマア

國議院ノ事務ハ之ノ如シ
法律ノ草案ヲ建テ談ケ元老并ニ民選議
院ニ對シテ右法律草案ノ高議ヲ助防ス
法則或ハ規則ニ從テ國議院ニ於テ檢査
スベキ支配ノ諸事件ト支配ノ訟事并ニ
裁判官ト支配官ノ間從ニ歸スルノ爭論
ニ就テ各箇決断スルノ布令ヲ政府ニ奉
上

六五 規則ニ由成ル一キノ布令式ハ支
配規則ニ從テ出ス一キノ布令ハ必ス國
議院ノ了簡ヲ受クヘシ

皇帝ヨリ國議院ハ訴出スル貴官ノ行狀

ニ就テ總統誓ヲ國議院ニ委任ス

抑皇帝或ハ諸々ヨリ國議院ハ進ムルノ

事件ニ就テ國議院ハ了簡ヲ出スヘシ

國議院取扱

國議院ハ左ノ六部ニ分局ス

✓

法律裁訟外務之部

訟事之部

國內事務大學諸宗官之部

工部耕作文藝之部

海陸軍之部

經濟之部

右諸分局ハ政府ノ布令ヲ以テ变革ヲ受

クルヲ得ル各部長トシテ議官一人

各部局ニ置ク右議官ハ皇帝ヨリ選任

國議院ハ諸々ノ外ハ人ノ出席アラザル
中ハ決斷スルヲ能ハズ

抗拒ノ議員ト許諾ノ議員其數全ク相半

バスルキハ議長ノ方ノ了簡ヲ先トスヘ

元老或ハ民選議院ニ差シ進メタル法律

稿密ヲ助成セシメ為メテ皇帝ヨリ議官

三人ヲ選任シテ之レヲ遣ル

諸卿ハ國議院ニ於テ席ヲ取リ相談スル
ノ權アリ

國議院ノ編成

國議院ノ編成ハ左ノ如シ

皇帝ヨリ委任シタル議長一人副議長一
人

議官四十人乃至五十人

部外議官十五人ニ過ベカラズ

亦常用ノ議官二十人ニ過ヘカラズ

訴訟頭四十人 二十人宛ニ組ニ分ツ
聴聞者八十人 且二十人ヲ第一等トシ六十
人ヲ第二等トス
総調貴官一人 國議院ニ附屬ス此官ノ位
ハ訴訟頭ニ準ス

國議院官負一任職并ニ免職ハ皇帝ヨリ
命ス

皇帝ハ國議院ニ於テ上席ス皇帝不在ノ
時ハ議長上席ス
議長ハ國議院ノ諸部ニ於テ随意ニ上席

ス又夕國議院ノ訟事ニ就テノ總會議ノ
時ヲ議長兼意ニ至席ス

議官并訴訟頭ハ選民議負或ハ元老官ノ
職且ツ凡テ奉金アルノ公務ハ兼勤スル
ヲ得ス尤海陸軍ノ將ハ議官ヲ勤ムル
ヲ得ルナリ

部外議官ハ貴官ヲ勤ムル人ノ中ヨリ選
挙ス此官ハ國議院ノ總會議ニ預リ決定
ノ權アリ然レ月給或ハ費金アルヲナ

議官或ハ部外議官退職ノ時ハ皇帝ヨリ
内官ハ非常用議官ノ位ヲ授クルコトヲ得
ルナリ

非常用議官皇帝ノ殊命ヲ以テ國議院總
會議ニ召サル、ノ中ハ此ニ出席シテ決
定ノ權アリ
訴訟頭府外ノ役ニ委任ヤラル、ノ時カ
或ハ何レノ譯ニテテ國議院ノ役廢止ヤ

ラル、ノ時ハ皇帝ヨリ内官ノ輩ハ非常
用訴訟頭ノ位ヲ授クル
國議院ノ聽聞者政府ノ諸局或ハ皇帝ヨ
リ取極メタル縣廳ハ附屬ヤシムルヲ得
ル此場合ニ於テハ矢張通例聽聞者ト見
ル
聽聞者府外預備職ニ委任ヤラル、ノ時
ハ非常用聽聞者ノ位ヲ授クルナリ
副議長ノ俸金ハ六万ヲラシクニシテ今課

頭ハ三萬五千フランナリ

議官ノ俸金年々二萬五千フランナリ

第一等訴訟頭ノ俸金ハ一萬フラン

第二等訴訟頭ノ俸金六千フラン

第一等聴聞者ノ俸金ハ二千フランナリ

第二等ノ聴聞者ハ俸金ナシ

國議院議長ハ諸卿ト同等ノ位并同ボノ俸金アリ

國議員ハ位ノ順序ハ元老ト民選議員ノ

間ニアリ

